

走行会イベント

「第 29 回 NAPAC 走行会 in 富士」を開催

6月12日(水)・富士スピードウェイ

本年2回目のNAPAC走行会「第29回NAPAC走行会 in 富士」を6月12日(水)に、富士スピードウェイ・レーシングコースで開催し、2時間走行枠に71台のユーザー車が参加しました。



ユーザー PR を行った高瀬雄生 ASEA 事業部長 (ブリード)

開会に先立ち、ASEA 事業部の高瀬嶺生事業部長が挨拶に立ち、サーキット走行の楽しさやカスタマイズパーツへの交換の楽しさをアピール。またNAPAC 会員パーツの使用を訴求しました。

また、萩原正志基準委員長(エンドレスアドバンス)による ASEA 基準の紹介が行われました。

なお、今回の走行会では「オートパーツの日」と「洗車の日」の協同 PR に取り組み、ドラミ会場に洗車の日ののぼり旗を掲示した他、淵田昌嗣 AAAL 洗車の日委員長による PR も行われました。



萩原基準委員長 (エンドレスアドバンス) は ASEA 基準を PR

業界記念日 PR

NAPAC 走行会で「洗車の日」と「オートパーツの日」を PR

今回のNAPAC走行会では、毎回続けている「オートパーツの日」のPRに加え、「洗車の日」のPRにも取り組みました。

当日はオートアフターマーケット活性化連合(AAAL)・洗車の日委員会の淵田昌嗣委員長(武蔵ホルト)がドライバーズミーティングに参加し、洗車の日をPRした他、武蔵ホルト様からのご協賛品が参加者全員にプレゼントされました。



その後、谷口信輝選手、片岡龍也選手、柳田真孝選手、島谷篤史選手、花里祐弥選手が参加したドライバーズミーティングが行われました。同乗走行を含めご協力頂きましたプロドライバー各位に、改めて御礼申し上げます。

走行会では、Aパドックの展示ブースエリアに会員12社が出展し、最新のカスタマイズパーツをアピールしました。

走行会終了後はエンドレスレディも応援に駆け付け、大抽選会を開催し、スポーツシートやタイヤ、アルミホイール、ブレーキパッド等の豪華景品が抽選でプレゼントされ、大いに盛り上がりしました。

次のNAPAC走行会は9月25日(水)に富士スピードウェイで開催致します。



アクレ



アサヒハイズ FET 事業部



E・M・C アルミホイール事業部



エイチ・ビー・アイ



エンドレスアドバンス



小倉クラッチ



クリーンエクセル



KYB エンジニアリングアンドサービス



セントラル



トラスト



藤登技研工業



ブリッツ

ラリーイベント

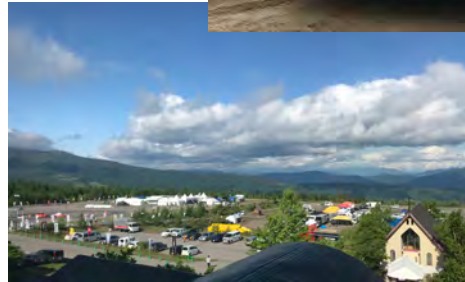
2019 年 JAF 全日本ラリー選手権第 5 戦 「モントレイ 2019」「2019 FIA APRC ASIA RALLY CUP」に会員 7 社+事務局が出展

6月8日～9日/パルコール婦恋リゾートホテル（メイン会場）

6月8日（土）～9日（日）の2日間にわたり、群馬県吾妻郡のパルコール婦恋リゾートホテルをメイン会場に行われた「モントレイ 2019」並びに「2019 FIA APRC ASIA RALLY CUP」に当振興会の会員 7 社、及び事務局が出展致しました。

今年のモントレイは、この時期特有の目まぐるしい天候変化に見舞われたものの、7日（金）のセレモニアルスタートの観客 100 名を含め、熱心なラリーファンはもとより、地元の家族連れや自動車ファン等、延べ 14,500 人の観客を動員。大いに盛り上がりました。

当振興会からはエムケーカシヤマウィンマックスディビジョン、エンドレスアドバンス、小倉クラッチ、キャロッセ、ブリッド、ワーク、ワイエフシー、並びに事務局が出展し、



最新のカスタマイズパーツやデモカーを展示して PR 致しました。

また、7月1日よりプレゼントキャンペーンがスタートする「オートパーツの日」（8月2日）のPRの一環として、主催者企画のプレゼントイベントにノベルティサングラス並びにステッカー貼付ミニカー（トミカ）を協賛致しました。



エムケーカシヤマウィンマックスディビジョン



エンドレスアドバンス



小倉クラッチ



キャロッセ



ブリッド



ワーク



ワイエフシー



NAPAC 事務局

オートアフターマーケット活性化連合

富士 SW で AAAL スポー ティングパーツ委員会を 開催

オートアフターマーケット活性化連合（AAAL）のスポーティングパーツ委員会（深澤広司委員長）は6月12日、NAPAC 走行会が開かれた富士スピードウェイで2019年度第1回委員会を開催しました。当日は「オートパーツの日」のPR活動進捗について協議した他、委員会終了後は同乗走行への参加や走行会視察等を通じて、モータースポーツ分野の現状等を確認しました。

